

心エコー



安全で痛みを伴うことがない身体にやさしい検査です。
それでも、心臓のことがとてもよくわかります。

Q 何のために検査をするのですか？

A 心臓の病気や血管の病気の診断、治療方針の判断、治療した際の効果の判定などが目的です。このような病気では欠かすことのできない検査となります。

Q 身体への負担は
どうですか？

A 心エコー検査は超音波を使った検査で、心臓が動いている様子を身体の外から観察します。身体を傷つけることなく、放射線被曝などの心配もありません。

Q 何がわかりますか？

A 心臓の大きさ、形、動きの異常、弁の異常、血流の異常、異常な構造物があるかなどいろいろなことがわかります。

Q 検査時間はどのくらい
かかりますか？

A だいたい40～50分程度かかりますが、内容によってはそれよりも短いことや長くなることもあります。

Q どのように検査するの
ですか？

A 胸が見えるようにして、左側を下に横向きになります。超音波のとおりをよくするために胸の上に少しゼリーをつけます。検査担当者は超音波を送り出す探触子という器具を身体に軽く当てて観察します。観察部位によっては仰向けになったり右側に向いてもらいます。また、5秒ほど息を止めてもらうこともあります。



この検査を受けられるご予約の場合は、足首が簡単に出るような服装にてご来院されるよう、お願いいたします。

心エコーで分かること

心臓に関わる手術などの術前・術後や不整脈、各弁膜症、心雑音などを検査する際に行われています。

Q & Aでも記述しましたように超音波を使った検査なので身体にやさしく、放射線検査ではみることができない心臓のポンプ機能（能力）についてもみることができます。

また、撮像された画像の1つ1つを分析して、患者さんの体格に応じたデータで心臓の調子が分かります。

心エコーは、下に示す方法を使って心臓や心臓に関連する循環の状態についてもしっかりとみていきます。

超音波断層法：超音波で見る色々な断面の画像が得られます。

カラードプラ法：血液などの流れ方が分かり、その流れは**赤色**や**青色**などで見ることができます。

組織ドプラ法：心臓の筋肉の元気が分かります。

パルスドプラ法：心臓の血液の流れ方を細かくみることができます。

連続波ドプラ法：弁からの漏れなど速い血流のスピードが分かり、圧力を推定することができます。

この検査は胸を出してもらっていることと、少し時間がかかりますので、寒い・姿勢がしんどい等ございましたら、検査担当に遠慮なくお申し付けください。